

[廃棄]

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : トンネル粉じん
 化学特性 : -
 分子量 : -
 CAS 番号 : -
 含有量 : 100 %
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

ただし以下の成分を含む

成分 1

化学名又は一般名 : フルオレン
 化学特性 : C₁₃H₁₀
 分子量 : 166.21
 CAS 番号 : 86-73-7
 含有量 : 2.64 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : 4-643
 官報公示整理番号(安衛法) : 公表

成分 2

化学名又は一般名 : アントラセン
 化学特性 : C₁₄H₁₀
 分子量 : 178.23
 CAS 番号 : 120-12-7
 含有量 : 4.6 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : 4-683
 官報公示整理番号(安衛法) : 公表

成分 3

化学名又は一般名 : フルオランテン
 化学特性 : C₁₆H₁₀
 分子量 : 202.25
 CAS 番号 : 206-44-0
 含有量 : 20.3 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : 4-2
 官報公示整理番号(安衛法) : 公表

成分 4

化学名又は一般名 : ピレン
 化学特性 : C16H10
 分子量 : 202.25
 CAS 番号 : 129-00-0
 含有量 : 18.8 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : 4-782
 官報公示整理番号(安衛法) : 公表

成分 5

化学名又は一般名 : ベンゾ[a]アントラセン
 化学特性 : C18H12
 分子量 : 228.29
 CAS 番号 : 56-55-3
 含有量 : 2.62 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 6

化学名又は一般名 : ベンゾ[b]フルオランテン
 化学特性 : C20H12
 分子量 : 252.31
 CAS 番号 : 205-99-2
 含有量 : 1.96 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 7

化学名又は一般名 : ベンゾ[k]フルオランテン
 化学特性 : C20H12
 分子量 : 252.31
 CAS 番号 : 207-08-9
 含有量 : 0.899 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 8

化学名又は一般名 : ベンゾ[a]ピレン
 化学特性 : C20H12
 分子量 : 252.31
 CAS 番号 : 50-32-8
 含有量 : 1.39 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 9

化学名又は一般名 : ペリレン
 化学特性 : C₂₀H₁₂
 分子量 : 252.31
 CAS 番号 : 198-55-0
 含有量 : 0.294 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 10

化学名又は一般名 : インデノ[1,2,3-cd]ピレン
 化学特性 : C₂₂H₁₂
 分子量 : 276.33
 CAS 番号 : 193-39-5
 含有量 : 1.41 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 11

化学名又は一般名 : ベンゾ[g,h,i]ペリレン
 化学特性 : C₂₂H₁₂
 分子量 : 276.33
 CAS 番号 : 191-24-2
 含有量 : 2.54 mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 12

化学名又は一般名 : クロム
 化学特性 : Cr
 分子量 : 51.96
 CAS 番号 : 7440-47-3
 含有量 : 1.071 %
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 13

化学名又は一般名 : ニッケル
 化学特性 : Ni
 分子量 : 58.69
 CAS 番号 : 7440-02-0
 含有量 : 0.285 %
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 14

化学名又は一般名 : 鉛
 化学特性 : Pb
 分子量 : 207.2
 CAS 番号 : 7439-92-1
 含有量 : 0.108 %
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 15

化学名又は一般名 : マンガン
 化学特性 : Mn
 分子量 : 54.93
 CAS 番号 : 7439-96-5
 含有量 : 645mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 16

化学名又は一般名 : カドミウム
 化学特性 : Cd
 分子量 : 112.41
 CAS 番号 : 7440-43-9
 含有量 : 43.4mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 17

化学名又は一般名 : ナフタレン
 化学特性 : C₁₀H₈
 分子量 : 128.17
 CAS 番号 : 91-20-3
 含有量 : 11.6mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : 4-311
 官報公示整理番号(安衛法) : 公表

成分 18

化学名又は一般名 : フェナントレン
 化学特性 : C₁₄H₁₀
 分子量 : 178.23
 CAS 番号 : 85-01-8
 含有量 : 46mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : 4-635
 官報公示整理番号(安衛法) : 公表

成分 19

化学名又は一般名 : ベンゾ[c]フェナントレン
 化学特性 : C18H12
 分子量 : 228.29
 CAS 番号 : 195-19-7
 含有量 : 0.72mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 20

化学名又は一般名 : クリセン
 化学特性 : C18H12
 分子量 : 228.29
 CAS 番号 : 218-01-9
 含有量 : 2.4mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 21

化学名又は一般名 : ベンゾ[e]ピレン
 化学特性 : C20H12
 分子量 : 252.31
 CAS 番号 : 192-97-2
 含有量 : 2.4mg/kg
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 22

化学名又は一般名 : 亜鉛
 化学特性 : Zn
 分子量 : 65.40
 CAS 番号 : 7440-66-6
 含有量 : 8.85%
 官報公示整理番号(化審法) : -
 官報公示整理番号(安衛法) : -

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受けること。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗い流すこと。汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診断を受けること。
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。医師の診断を受けること。
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。気分が悪い時は医師に連絡すること。
 応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 初期消火として粉末、粉末消火設備、器具で消火する。 粉末、砂、水。
使ってはならない消火剤	: 二酸化炭素、泡。
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生することがある。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 火気厳禁 高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。
局所排気・全体換気	: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な

保護具を着用する。

保管

- 適切な保管条件 : 清浄で遮光した 5 °C 程度の場所に保管すること。
安全な容器包装材料 : ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

- ・ ACGIH TLV-TWA : 設定されていない
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 : 設定されていない

設備対策

- 換気・排気 : 局所排気装置又は全体換気装置 (多量に取扱い、粉じんが発生する場合)
- 安全管理・ガスの検知 : -
- 貯蔵上の注意 : -

保護具

- 呼吸器の保護具 : 呼吸用保護具
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 安全ゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- ・ 外観 : 粉末
- ・ 色 : 黒色
- ・ 臭い : データなし
- ・ pH : データなし
- ・ 融点 : データなし
- ・ 沸点 : データなし
- ・ 引火点 : データなし
- ・ 爆発範囲 : データなし
- ・ 蒸気圧 : データなし
- ・ 相対蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
- ・ 比重又は嵩比重 : データなし
- ・ 溶解度 : データなし
- ・ n-オクタノール/
水分分配係数 (log Po/w) : データなし
- ・ 自然発火温度 : データなし
- ・ 分解温度 : データなし
- ・ 燃焼性 : データなし

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・通常条件で安定である

◇反応性

- ・強酸化剤と接触すると反応することがある

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・日光、熱、酸化剤との接触

◇混触危険物質

- ・データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

ピレン：飲み込むと有害のおそれ

経口摂取すると、悪心、嘔吐、腹痛、頭痛、チアノーゼなど起こすことがある。

経口 ラット LD50=2,700 mg/kg

カドミウム：飲み込むと有害

粉じんやヒュームを吸入すると、胸痛、呼吸困難、気管支炎、肺炎などを起こすことがある。

経口 ラット LD50=1,140 mg/kg

経口 マウス LD50=890 mg/kg

吸入 ラット LC=0.0031 mg/L

吸入 ヒト LCL0=39 mg/m³/20M

静脈注射 ラット LD50=1,800 μg/kg

腹腔内注射 ラット LD50=4 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性

ピレン：皮膚に対して軽度の刺激性がある

皮膚 ウサギ 500 mg/24H Moderate

ベンゾ[a]ピレン：皮膚刺激性

具体的な症例報告はないが、ヒトでは皮膚に紅斑および灼熱感を伴った刺激性がある。

皮膚 マウス 14 μg 軽度

マンガン：皮膚に対して軽度の刺激性がある

ウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果、24時間適応でmild(軽度)の刺激性を示したとの記述がある。

眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性

アントラセン：眼に対して強い刺激性がある

ヒトへの影響について、眼瞼浮腫、結膜の充血が記述されている

クロム：眼に対して刺激性がある

粉末は機械的刺激を起こす可能性がある

マンガン：眼に対して刺激性がある

呼吸器感作性	<p>ウサギの眼に軽度の刺激性が認められた 多量に粉じんを吸入した場合、呼吸器への蓄積による障害の原因となるおそれ。</p>
	<p>クロム：吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ 日本職業・環境アレルギー学会のリストに記載されていることに基づく。なお、日本産業衛生学会でも「人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質」に分類されている。 ニッケル：吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ 日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告で気道感作性物質（第2群）に分類されている。</p>
皮膚感作性	<p>アントラセン：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ ヒトについて、本物質の皮膚塗布後の紫外線照射により発赤、蕁麻疹あるいは膨疹がみられたとの報告があり、内1件では、紫外線照射のみの対照群では発赤はみられなかったと記述されている。</p>
	<p>クロム：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 金属クロム、クロム合金、クロムメッキはこの形態では感差性は認められないが、湿気により溶解してクロムイオンのばく露を受けて皮膚感作性を示す可能性があるという記述がある。 ニッケル：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告で皮膚感作性物質（第1群）に分類されている。</p>
生殖細胞変異原性	<p>ベンズ[a]アントラセン：遺伝性疾患のおそれの疑い 体細胞を用いる in vivo 変異原性試験であるハムスター骨髄細胞を用いた染色体異常試験および赤血球を用いた小核試験、ならびにラット赤血球を用いた小核試験で陽性の結果がある。</p>
	<p>ベンゾ[a]ピレン：生殖細胞を用いる in vivo 経世代変異原性試験であるマウスを用いた優性致死試験での陽性の結果がある。 クロム：遺伝性疾患のおそれの疑い 体細胞を用いる in vivo 体細胞変異原性試験でラットの末梢血リンパ球の染色体異常で陽性の結果がある。 鉛：遺伝性疾患のおそれの疑い 鉛関連労働者の末梢血リンパ球における染色体異常に関しては相反する結果が得られているが、鉛そのものに染色体異常/小核誘発作用があるとの記述がある。</p>
発がん性	<p>カドミウム：遺伝性疾患のおそれの疑い 疫学・職業的にばく露を受けたヒトの体細胞を用いた染色体異常で約半数の結果が陽性。</p>
	<p>アントラセン：発がんのおそれの疑い ラット、マウスを用いた2年間経口投与試験が実施さ</p>

れており、雄ラットおよび雌ラットの肝臓、雄ラットの膀胱、雌ラットの腎臓、膀胱、子宮、乳腺に腫瘍の発生増加が見られ、雌雄ラットと雌マウスに明らかながん原性が示されたと記述されている。

ベンズ[a]アントラセン：発がんのおそれ

IARC ではグループ 2A(ヒトに対しておそらく発がん性がある)に分類している。

ベンゾ[b]フルオランテン：発がんのおそれ

IARC ではグループ 2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある)に分類している。EU ではカテゴリー2(ヒトに対して発がん性があるとみなされるべき物質)、ACGIH では A2(ヒトに発がん性の疑いあり)に分類している。

ベンゾ[k]フルオランテン：発がんのおそれの疑い

IARC ではグループ 2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある)に分類している。EU ではカテゴリー2(ヒトに対して発がん性があるとみなされるべき物質)に分類している。

皮膚 マウス TDLo=2,820 mg/kg/47weeks

皮下 マウス TDLo=72 mg/kg/9weeks

ベンゾ[a]ピレン：発がんのおそれ

EPA で B2 に分類されているが、IARC でグループ 2A(ヒトに対しておそらく発がん性がある)、日本産業衛生学会で 2A、ACGIH で A2、NTP で R(ヒトに対して発がん性がある)、EU でカテゴリー2(ヒトに対して発がん性があるとみなされるべき物質)に分類している。

インデノ[1,2,3-c,d]ピレン：発がんのおそれの疑い

IARC ではグループ 2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある)に分類している。

皮膚 マウス TDLo=40 mg/kg/20days

皮下 マウス TDLo=72 mg/kg/9weeks

ニッケル：発がんのおそれの疑い

日本産業衛生学会では第 2 群 B(ヒトに対しておそらく発がん性のあると考えられる物質で発がん性の証拠が比較的不十分な物質)に分類している。

鉛：発がんのおそれの疑い

日本産業衛生学会では第 2 群 B(ヒトに対しておそらく発がん性のあると考えられる物質で発がん性の証拠が比較的不十分な物質)に分類している。

カドミウム：発がんのおそれ

日本産業衛生学会では第 1 群(ヒトに対して発がん性の

	ある物質)に分類している。
生殖毒性	<p>ベンゾ[a]ピレン：生殖能または胎児への悪影響のおそれ マウスを用いた妊娠中経口投与試験において系統差はあるものの母動物に一般毒性が認められない用量で生殖能への影響が認められた。</p> <p>ニッケル：生殖能または胎児への悪影響のおそれ ラットの経口投与(飲水)により、250 ppm までの濃度において仔の体重減少、出産前後の仔動物の死亡例が増加したこと、また、着床前の死亡例および数例の奇形児がみられたことから、親動物で一般毒性が示されない用量において発生毒性の影響があると考えられた。</p> <p>鉛：生殖能または胎児への悪影響のおそれ ヒトばく露例で精子形成に影響があるとの記述、女性職業ばく露例で排卵機能障害がみられたとの記述がある。</p> <p>マンガン：生殖能または胎児への悪影響のおそれ マウスの催奇形性試験において、投与方法が腹腔内投与であり、親動物での一般毒性に関する記述もないが、胚致死と奇形胎児(脳脱出)がみられている。</p> <p>カドミウム：生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い 親動物での一般毒性に関する記述がないが、同腹子数の減少、胎児の死亡、胎児の成長阻害および奇形がみられ、新生児の成長および運動能発達の阻害などがみられている。</p>
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	<p>アントセラン：呼吸器への刺激のおそれ 動物については、本物質による噴霧ばく露は気道を刺激すると記述されている。</p> <p>クロム：全身毒性の障害のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 金属ヒューム熱を生じる可能性があるとの記載がある。ヒトで気道刺激性が報告されている。</p> <p>ニッケル：呼吸器、腎臓の障害 ヒトについては、肺胞領域での肺胞壁への障害および水腫、腎臓における顕著な尿細管壊死の記述がある。</p> <p>マンガン：呼吸器の障害 マンガン粉じん(特に MnO₂ と Mn₃O₄)の急激なばく露は肺の炎症反応を生じさせ時間の経過とともに肺機能障害を誘導する。肺への毒性は気管支炎等の感染性を上昇させ、結果としてマンガン肺炎を発症させるとの記載がある。</p> <p>カドミウム：肺、呼吸器の障害 ヒトが加熱で発生したヒュームにばく露されると気管支炎、肺炎、肺浮腫などが生じ、致死することがある。また、高濃度の吸入ばく露は動物に致命的な肺浮腫を生じさせる等の記述がある。</p>
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	<p>ピレン：長期または反復ばく露による腎臓、血液の障害のおそれ マウス 0, 75, 125, 250 mg/kg/day を 13 週間強制経口投与した</p>

結果、雌では 75 mg/kg/day 以上の群で用量に依存して腎症
 の発生率が増加し、250 mg/kg/day 群で半数に達したが、
 雄では 250 mg/kg/day 群にみられる程度であった。さらに、
 75 mg/kg/day 以上の群の雄で赤血球数、赤血球沈殿容積お
 よびヘモグロビン濃度の減少がみられた。

ベンゾ[a]ピレン：長期または反復ばく露による骨髄、呼吸器の障害
 のおそれ

マウスを用いた経口投与試験において系統差はある
 ものの骨髄抑制が区分 2 のガイダンス値範囲の
 投与で認められた。またヒトへの慢性影響として
 呼吸器障害、肺気腫に関係するといわれていると
 の記述があるが、具体的な症例報告はない。

ニッケル：長期または反復ばく露による呼吸器の障害

実験動物については、胸膜炎、肺炎、うっ血および水腫、
 肺胞には膜に結合した層状体の増加がみられる等の記述
 がある。

鉛：長期または反復ばく露による造血器、神経系、腎臓、中枢神経、
 末梢神経、心血管、免疫系の障害

標的臓器は造血系、神経系、腎臓および心血管系であるとの記述、
 ヒトのばく露例でヘム合成阻害、腎症、脳疾患、末梢神経および
 中枢神経機能に影響がある、また免疫抑制作用がみられるとの記
 述がある。

マンガン：長期または反復ばく露による呼吸器、神経系の障害

最も一般的な含マンガン無機物は二酸化マンガン、炭酸マ
 ンガン、珪酸マンガン、三酸化マンガンである。通常、過
 剰のマンガン化合物の 14 日間もしくはそれ以下(短期間)
 または 1 年間わたる(中期間)ばく露は呼吸器および神経
 系に影響をおよぼし、他の臓器には影響をおよぼさないと
 されているとの記載がある。

カドミウム：長期または反復ばく露による腎臓、肺、血液、骨、呼吸
 器の障害

動物実験で慢性的な肺炎、肺気腫、蛋白尿などがみられ、
 長期職業ばく露は、ヒトに肺および腎臓を主とする重篤な
 慢性影響を生じさせる。また、骨粗しょう症や骨軟化症を
 発症させる。慢性的ばく露は、ヒトに貧血、好酸球増加症、
 鼻炎、肺気腫、歯の脱色、腎臓病をもたらす。等の記述が
 ある。

その他

※有害性情報については、混合物としての情報がないため、原材料の情報より作成しています。
 本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、
 高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・アントラセン：水生毒性(急性) 水生生物に非常に強い毒性
水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
魚類(ブルーギル) LC=50=0.12 mg/L/96H
 - ・ピレン：水生毒性(急性) 水生生物に毒性
水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に毒性
甲殻類(オオミジンコ) EC50=1.6 mg/L/48H
 - ・ベンゾ[b]フルオランテン：水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に有害のおそれ
水溶解度までの濃度で急性毒性が報告されていないが、急速分解性がないと推定され、かつ生物蓄積性があると推定される。
log Kow=5.78
 - ・ベンゾ[k]フルオランテン：水生毒性(急性) 水生生物に非常に強い毒性
水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
甲殻類(オオミジンコ) LC50=0.014 mg/L (1.54d)
急速分解性がない。
log Pow=6.11 NOEC:<1 mg/L
 - ・ベンゾ[a]ピレン：水生毒性(急性) 水生生物に非常に強い毒性
水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
甲殻類(オオミジンコ) EC50=40 μg/L
急速分解性がないと推定され、生物蓄積性があると推定される。
log Pow=6.13
 - ・インデノ[1,2,3-c,d]ピレン：水生毒性(急性) 水生生物に非常に強い毒性
水生毒性(慢性) 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
藻類(セテナストラム) EC50=0.0002 mg/L/72H
急速分解性がない。
log Pow=6.70 NOEC:<1 mg/L
 - ・ニッケル：水生毒性(慢性) 長期的影響により有害のおそれ
 - ・マンガン：水生毒性(慢性) 長期的影響により有害のおそれ
 - ・カドミウム：水生毒性(慢性) 長期的影響により有害のおそれ
- 分解性・濃縮性
- ・データなし
- 生体蓄積性
- ・データなし
- 土壌中への移動性
- ・データなし
- オゾン層への有害性
- ・データなし

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし
国連分類 : -

品名	: -
容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

◇化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

- ・「第1種 指定化学物質(政令 第87号) : Cr

◇労働安全衛生法

- ・施行令第18条 名称等を表示すべき有害物
 - ・施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物 No. 142、No. 418、No. 411
-

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
